



英語科の望野先生より、アメリカ合衆国の意外と知らない点について寄稿していただきました。望野先生は以前、アメリカの航空会社デルタ航空のフライトアテンダントとして勤務していた経験があります。この記事を読んで楽しんでいただけたら、ぜひ望野先生に直接ご自身の体験や海外生活で感じたことを聞いてみてください。

## 知っていそうで知らないアメリカ

英語科 望野裕子

今やインターネットが当たり前の時代。どこにいても遠くの国の情報は手に取るように分かるようになったと思う人が多いと思います。ましてや、アメリカに関しては誰もがわりと知っている、と思いがちではないでしょうか。しかし、「所変われば…」ではないですが、まだまだびっくり仰天満載のアメリカがありますので、いくつかご紹介します。

### 銀行のドライブスルー

アメリカには、日本にはない銀行のドライブスルーがあります。ボタンを押すと窓口に銀行員が来てくれます。また、エアーシューターと呼ばれる筒状の容器が設置してある銀行もあり、現金や伝票、免許証などを入れるとロケットのように飛んでいき、銀行の窓口に届けてくれます。レシートなどもエアーシューターを通して飛んできます。ドライブスルーの窓口は銀行の営業時間のみ利用可能ですが、ATMもドライブスルー形式で設置してあり、こちらは24時間利用可能です。



アメリカでは治安のいい地域でも銀行強盗が発生するそうです。できるだけ車から降りず、安全性を考慮した結果、ドライブスルーが普及したのかもしれない。

### レジの精算前に食品を食べても大丈夫

アメリカのスーパーではレジで会計をする前に食品を食べてしまう方もいます。子どもが商品のお菓子を食べてしまったとしても、値札シールが貼られている空き箱をレジに持っていけば精算することができます。しかし実際は、80~90%の人が精算前の商品を開けることに抵抗があるようです。いくら大丈夫とは言え、やはり先にお会計を済ませる方が気持ちよく買い物できますね。

## 返品大国アメリカのギフトレシート

ギフトレシートとは、プレゼントを受け取った人のために発行されるレシートのことで、金額は表示されていません。プレゼントの送り主は、プレゼントと一緒にこのレシートを添えます。プレゼント受け取り主は、サイズが合わない、同じものをすでに持っている、実はあまり気に入らない、などの理由で返品や交換をしたい場合があります。そこで、ギフトレシートと商品を持って購入した店舗に行けば、希望する商品があれば交換可能でき、返品した場合は、そのお店のギフトカードとして金額分がもらえるのです。日本とは違い、合理的な考え方をする一面がうかがえます。



## Carpool Lane カープール車線



Carpool lane (カープール車線)とは、特定の車両または特定の人数が乗っている車両のみが通行できる車線のことで、一般車線とは白の実線で区切れられひし形のマークがペイントされています。“Carpool Lane” “HOV Lane” が最も一般的に言われる名前で、“HOV”とは“High Occupancy Vehicle”のことです。条件を満たせば渋滞を回避して走行することもできます。

カープール車線を使用できる車両は、特定の人数(ほとんどは一つの車両に2人以上)が相乗りしている車両や、バスとモーターサイクル(日本語で言うオートバイ)などです。バスとモーターサイクルは乗員が一人でもカープール車線を使うことができます。

色々な意味でこのような「The America」を見つけるのも面白いと思います。皆さんはどんなびっくり仰天エピソードをご存知でしょうか。

静岡県立科学技術高等学校 国際化推進室 通信 令和2年度 第4号 2020年12月

国際化推進室では、職員・生徒の「国際化」をめぐる様々な体験や知見を発信していきたいと考えております。本号に関して感想をお寄せいただければ幸いです。

〒420-0813 静岡市葵区長沼 500 番地の 1 静岡県立科学技術高校 TEL:054(267)1100 FAX: 054(267)1123